



たてやま

議会だより

平成20年
3月定例会

元気に飛び出せ！日中上野つ子

総合公園
といでの丘にて

議会役員改正 ————— 2P

一般質問 9名が登壇 ————— 3P

常任委員会の審議 ————— 8P



親子でうれしい入所式
〔日中上野保育所〕

No. 28

2008. 5. 10

発行／立山町議会

責任者／議長 村田 昭

編集／広報特別委員会



3月定例会で行われた一般質問です。
くわしくは、図書館や議会事務局に
議事録があります。
ホームページでもアクセスできます。
<http://www.town.tateyama.toyama.jp/>

4月19日 みどり維新の町20周年記念

一般質問

就任のご挨拶



立山町議会議長 村田 昭

町民の皆様方には、日頃より町議会に對
しましてご理解とご支援をいただき、心よ
り厚くお礼申し上げます。
このたび2月の立山町議会臨時会におき
まして、立山町議会議長に推挙され、就任
させていただきました。
私にとりましては、まことに光栄である
とともに、身のひきしまる思いであり多く
の皆様方に感謝申し上げます。
立山町を取り巻く情勢は厳しいものがあ
り、その中で簡素で効率的な行財政運営が
求められております。議会に対する町民の
皆様方の期待も大きく、議会に課せられた
責任も重いものと思っております。
私は、少子・高齢化が進む中で、「安全
安心で住みよい町づくり」を目指してがん
ばります。また、元気で活気に満ちた町に
なるために、町当局と協力して町民の皆様
の負託に応えられるよう、議会一丸となつ
て汗を流していきたいと考えています。
町民の皆様の変わらぬ御指導とご協力を
お願い申し上げます。

2月12日より新役員にて発足

議 長	村 田 昭	副 議 長		桑 原 米 蔵
総 務 教 育 常 任 委 員 会 (7人)	(正) 佐藤康弘	石 川 孝 一	坂 井 立 朗	窪 田 一 誠
	(副) 細 川 均	村 田 昭	高 嶋 清 光	
産 業 厚 生 常 任 委 員 会 (7人)	(正) 伊東幸一	後 藤 智 文	町 田 信 子	桑 原 米 蔵
	(副) 村井隆夫	米 田 俊 信	中 川 光 久	
議 会 運 営 委 員 会 (6人)	(正) 米田俊信	後 藤 智 文	坂 井 立 朗	
	(副) 窪田一誠	村 井 隆 夫	高 嶋 清 光	
監 査 委 員 (1人)	町 田 信 子			
立 山 自 然 保 護 特 別 委 員 会 (7人)	(正) 窪田一誠	坂 井 立 朗	村 田 昭	米 田 俊 信
	(副) 石川孝一	中 川 光 久	高 嶋 清 光	
議 会 広 報 特 別 委 員 会 (7人)	(正) 後藤智文	細 川 均	佐 藤 康 弘	伊 東 幸 一
	(副) 村井隆夫	町 田 信 子	桑 原 米 蔵	
富山地区広域圏事務組合議会議員(2人)	桑 原 米 蔵	村 田 昭		
富山地域衛生組合議会議員(3人)	石 川 孝 一	桑 原 米 蔵	村 井 隆 夫	
中新川広域行政事務組合議会議員(4人)	伊 東 幸 一	窪 田 一 誠	中 川 光 久	高 嶋 清 光
滑川中新川地区広域情報事務組合議会議員(3人)	後 藤 智 文	町 田 信 子	米 田 俊 信	
町 都 市 計 画 審 議 会 委 員 (2人)	伊 東 幸 一	村 井 隆 夫		
民 生 委 員 推 薦 会 委 員 (2人)	伊 東 幸 一	村 井 隆 夫		
企業誘致促進調査特別委員会(14人)	(正) 高嶋清光	(副) 中川光久	議 員 全 員	

細川 均 議員



20年度予算編成にあたって
議員 希望と安心のまちづく
りに配慮したことは何か。
福祉・教育に重点
町長 (仮称) 北部保育所や総
合公園屋内グラウンドの建
設、教育施設整備改革を推
進する。75歳以上の世帯や
独居高齢者世帯等を対象に
住宅用火災報知器1台無料
設置するほか、後期高齢者
健康診査の自己負担を無料
にする。
市町村合併
議員 町長の思いは。
民意を考慮
町長 小規模自治体の財政は
益々厳しくなると住民に説
明してきたところである。
行政サービス・住民負担を
他の市町村と比較し
て説明責任を果たし、
民意により町の進む
べき方向を判断した
い。



今後の職員数は
議員 行財政改革における職
員配置計画を示してほしい。
適材適所の人員配置
副町長 昨年4月1日時点の
全職員数は294名だった
が、本年4月1日時点で15
名減の279名となる。内
訳は役場本庁144名、消
防30名、保育所72名、学
校27名、その他出先機関で6
名となる。今後、人事評価
制度の導入を機に、適材適
所の人員配置を行い、限ら
れた職員数でも町民サービ
スに支障をきたすことな
いようにしたい。

桑原米蔵議員

「特別講演会」の開催など
教育長 基礎学力の向上と、学ぶ意欲・態度を醸成し、家庭や地域の協力を得ながら、良好な生活習慣を身に付けさせることを主眼としている。更に、時間割りの検討や教員・保護者・町民

より高い理念を掲げている
教育長 60年ぶりに改正された主なものは、公共の精神や、伝統と文化の尊重を強調している。現在の教育環境に合うよう生涯学習、大学・私立学校の条文の追加、義務教育の9年の年限を削除し、家庭教育・幼児期教育を規定するなど、理念法である。



教育基本法の改正点は
議員 教育基本法が改正されたが、そのポイントは。



進む下水道整備(高原地区)

もっと下水道法の説明を
議員 下水道が整備されても、27%の家庭が接続されていない。下水道法の説明が町民に不足していないか。
啓発に努める
水道事業所長 下水道供用開始から2年経過して未接続の世帯には文書を発送、その他PR活動等をしている。今後は児童による処理場見学、町広報・ケーブルテレビ等で啓発していく。

石川孝一議員



作っている様子が見える
雄山中学校調理室

学校給食は
議員 食育を実践する一番効果的な場が「学校給食」である。学校給食は生産者の顔が見える自校方式が望ましい。これ以上の大規模化はしないではないか。
町全体での共同調理場を建設したい
町長 今の共同調理場は建設後23年が経過している。学校給食の向上と子どもたちへの食の安全・安心か



青少年ホームは
議員 現在の勤労青少年ホームはいつまで利用可能なのか。受け入れ先の地元との話し合いはどうなっているのか。移転困難なサークル等への対応は。
平成21年度後半を予想
教育課長 平成20年度に上東中学校の耐震診断を実施し、移転は21年度後半になると予想している。

受け入れ先の地元とは今後説明協議したい。
移転は、初めにホーム本館と青年館を予定。弓道場・武道館・友情館は当面、現施設を利用したい。
移転困難な利用者には、町中心部の町民会館・郷土資料館「休んでかれや」、そして、現在五百石駅中心に計画を進めている「立山町元気創造館」等も気軽に利用できるよう関係者と協議していきたい。

佐藤康弘議員



道路特定財源の暫定税率の必要性は

議員 道路は安心・安全で、快適な生活を支える根本的な社会資本ではないか。

必要である

町長 道路特定財源の暫定税率が期限切れとなると、町では約2億5千万円の歳入欠陥が生じる。中山間地を抱える立山町は道路整備に対する要望が大変多い。安心・安全の面から道路整備及び維持などに要する経費を確保する必要がある。

福祉灯油金支給の状況と今後は

議員 生活弱者の暖房用灯油の購入費として、福祉灯油特別支給金が配布された。その効果と、今後の取り組みはどうか。

効果があり、今後は検討
健康福祉課長 直接対象者へ手渡したことで、高齢者の



喜ばれ、今後も期待される福祉灯油

町の地球温暖化対策は

議員 環境問題は人類にとって最も深刻な課題である。町の地球温暖化対策は。

ごみの減量化を推進

住民環境課長 ごみの減量化・資源化の推進を基本として、①自治会ごとの出前講座、②剪定枝などはチップ化を進め、堆肥や土壌改良資材として利用、③家庭で不要になった封筒類等を回収、④家庭用生ごみ処理機の普及促進、⑤業務系生ごみの堆肥化促進、に取り組みたい。

高嶋清光議員



町の限界集落の現状は

議員 立山町には限界集落があり早急な調査が必要ではないか。

9集落

町長 65歳以上の高齢者が人口の半分以上を占める限界集落は、住民基本台帳の集計により9集落ある。

対策委員会設置は

議員 限界集落への対策として緊急対策委員会の設置を。

研究会が発足している

町長 総務省では、人口流出防止策を検討する研究会を発足させている。日常生活に必要な機能を備える地域のあり方や、その実現方策の検討に入っていることから、その議論も参考にしながら研究したい。



新瀬戸小児童による池田浄瑠璃(電ヶ浜荘にて)

議員 定住対策はどのように考えているか。
環境づくりが大事
町長 平成16年度から3ヶ年にわたり、中山間地域若年世帯定住促進事業に取り組んできた。今年度からは都市部に向け、町への定住・移住に關しての発信をしている。若い人が地域に愛着をもって生活を維持できる環境づくりが大事であると考えている。受け入れる側の住民の意見を聞きながら定住交流推進事業に取り組んでみたい。

保存に努める

町長 町として歴史的な文化保護対策に努め、池田城址への案内看板の設置、立山参道の石塔並びに石仏群の保存に努めた。文化活動として、目桑ちりめん節、池田浄瑠璃など伝統文化活動の支援と育成を行いたい。

窪田 一 誠 議員

「コメ政策の一部見直しは
議員 米政策改革推進対策、品目横断的経営安定対策、農地・水・環境保全向上対策は、本年度から要件の一部見直しが行われるが、どこが変わるのか。

各地区で町政懇談会
町長 行政として説明責任を果たし、民意により町の進む方向を議会と判断したい。調査は検討委員会を設置し、抽出された町民へ調査票を送るのは7月に予定、9月末に公表。10月から各地区で町政懇談会を開く。

住民アンケートは
議員 町長は、議員の時に富山市との合併を望んでいたが、現時点での考えは。住民アンケートはどのように実施されるのか。



延長 2.7km(立山町0.9km・上市町1.8km)
道路幅員 12m

立山・上市横断道路の見直しは
議員 町道二ツ塚線の県道昇格と、立山・上市横断道路の今後の見直しは。
町長 現在昇格に向けて粘り強く要望している。立山・上市横断道路は19年用地交渉を行い、20年に物件補償、用地購入、道路工事着手、栃津川に架かる橋梁設計を実施。

ティが課され、産地づくり交付金が交付されない。21年産各種補助事業・融資について不利な取り扱いを受ける。認定農家が非実施者となったときは認定を取り消し、スーパーL資金の償還を求める。

順調に推移している

後藤 智 文 議員

考慮して検討
町長 浮いた財源と年齢拡大による負担増のバランスがどうなるのか、子育て支援として、小学生の医療費無料化がどの程度有効なのか等も考慮して検討したい。

小学生までの医療費の無料化を

議員 国の医療制度改革や所得制限の導入で医療費が浮く。そこで、小学生までの医療費の無料化を。

建設を望む声は多数
町長 保育所建設は、一部の方から反対意見を頂いているが、他方、一刻も早く老朽化した利田保育所の改築を望む意見を多数もらっている。行政の責任として建設を進めたい。

住民自治の破壊では
議員 住民合意を得ずに進められる(仮称)北部保育所は住民自治の破壊ではないか。



図書館は現状で
議員 (仮称)保健福祉総合センターに予定されている図書館は、利便性を考えれば現在のままで運営しては。

広くして有効活用

町長 現在の図書館は、書架と書架との間が狭く利用者から広くしてほしいと聞いている。また、電車の待ち時間にも有効活用されることを望む。

巡回バスを

議員 グリーンパーク吉峰へ巡回バスを出し、町民保養施設としての利用促進を。

改善など検討

産業観光課長 公共交通は利用を高めるためには効果がある。現行の吉峰線へのアクセス改善など検討。



移転予定の町立図書館

伊東 幸 一 議員



予算への思いは
議員 予算編成を終えて町長の思いは。

積極的に

町長 行財政改革に取り組み、「未来に投資する自治体が成功する」との信念のもと積極的な予算編成に取り組んだ。

組織機構の見直し

議員 産業観光課を二つに分ける目的は。

密度の高い行政運営を

産業観光課長 産業観光課を農林課と商工観光課に分け、密度の高い行政運営を行う。農業委員会に農地総合窓口を開設し、きめ細かく対応する相談員を配置する。

サンダーバースがやってくる

議員 町総合公園の野球



金利は0%
産業観光課長 収入減少分の運転資金対策では、「農業振興資金」の特別枠を設定、利子助成を行う。貸付限度額500万円以内。利息については、県・農協・町で利子助成を行い、金利は0%を予定。

「低金利融資策」を

議員 営農安定対策として、「低金利融資策」を導入する考えはないか。

場の工事内容、改修費用、管理体制、球団との契約内容は。

設備を整え、指定管理者を導入

建設課長 改修費1,980万円。外野フェンスにクッションになるラバーを設置、併せてスプリングカラーの更新も行う。管理については、屋内グラウンドの完成を視野に入れ、公園全体を指定管理者として運営。球団との使用契約は3年間とする。

中川 光 久 議員



新年度予算について

議員 財政健全化の取り組みと、今後の財政見直しは。

最大限の努力をする

町長 町税等徴収率の向上や、国の交付金等を最大限活用し、内部管理経費の削減に努める。今後は歳出削減はもちろん企業誘致施策等を進め、自主財源確保を図る。

農林課の復活を

議員 農業政策の変化により、農業行政の重要性が増大している。課内に専門相談員の配置を。

農地相談員

4月より配置

町長 厳しい農業行政に対応するため、農林課を復活させて、農業委員会に農地総合窓口相談員を配置する。



自主防災組織率は

議員 町の自主防災組織率と今後の対応は。

組織率73・8%で推進中

総務課長 自主防災会の組織は77団体で、率は73・8%。今後も安全・安心の町づくりに協力願いたい。

火災警報器は

議員 義務化に伴う火災警報器の町の普及状況は。

既存住宅の確認は無理

消防署長 新築住宅は確認できるが、既存住宅では確認ができない。町職員を対象としたアンケート調査では、設置率36・7%である。

義務化された住宅用火災警報器

サンダーバース 立山球場が「ホームグラウンド」に!!! 外野フェンスに広告募集 (町総合公園)

- 健康福祉課**
- 配食サービス事業の実施は。
 - 20年度は町内の対象者、約1,130名の方に本格実施するため、サービス業者と協議をし、4月にサービス希望される方を取りまとめ、5月から実施したい。1食あたり500円かかるが、400円は自己負担、残り100円は町が負担する。
 - 後期高齢者医療事業の住民への説明は。
 - 富山県後期高齢者医療広域連合から、75歳以上の方等に事務内容や制度について、パンフレットが送付される。町でもネット3・広報等を活用し、制度の周知を図って行きたい。
 - 特定健康検査の内容は。
 - 40歳から74歳までの方を対象に実施する。生活習慣病に着目した検診で、メタボリックシンドロームの該当者、及び、予備軍を発見するた

- 建設課**
- 野球場の安全対策は。
 - 今回は安全を考慮したラバー設置、及び、スプリングを設置する。すべての施設改修を行うと、相当な費用がかかるので困難であり、今後、調査検討したい。
 - 総合公園の広告掲載料100万円は。
 - 町内外の業者に、掲載していただけるようお願いしたい。
- 水道事業所**
- 浄化センター4か所の維持管理委託料890万円は。
 - 週1回の機械・電気設備の点検業務、及び水質検査と多岐にわたり維持管理業務がある。機械等の故障が発生した場合は、昼夜を問わず故障通報装置にて、委託業者の方へ連絡し、対処出来る体制になっている。
- 産業観光課**
- 畜産基盤再編総合整備事業で補助金として、6,3

農林課に相談窓口

産業厚生常任委員会



農業相談窓口がスタート

- 農業委員会**
- 農業委員会の相談員の賃金が計上されているが。
 - 農地総合窓口相談員を1名配置する。職務内容は、農地の売り手・買い手・貸し手・借り手等に関する情報の整理、活動による利用権の設定促進を図る。人材については農協を退職された方をお願いしたい。
- 住環境課**
- 燃やせるごみが増加し、リサイクルごみが減少している原因は。
 - 制度改正により硬質プラスチックが、燃やせるごみとなったことや、リサイクルできる古紙、廃プラも減少していることから、燃やせるごみとして出されたものと思われる。今後は、各家庭での生ごみ堆肥化の推進、ごみ出しルールの徹底、古紙・廃プラなどリサイクル活動の推進をはかる。

防災無線のデジタル化で 利便性向上



- 総務課**
- 防災無線のデジタル化の長所は。
 - 複数のチャンネルとして利用ができることから、双方向通信が可能になる。
 - 現在の防災放送は、聞きとりにくい改善されるか。
 - 音を広範囲に伝えるレフレックスホーンと、遠距離まで届くストリートホーンを組み合わせて解消できる。
- 企画政策課**
- 協働まちづくり事業は、実施した地区であっても再度申請できるのか。
 - 同じ事業に対しては、補助金交付はできない。しかし何らかの工夫を加えれば可能な場合もある。
 - 住民意向調査(アンケート)の内容は。
 - 合併に関するもの、生活環境、健康福祉、教育文化など15問程度想定している。
 - 関連意見 結論を誘導しやすいうような設問設定にならないように注意すること、検討委員会のメンバーは、公平無私の態度で選任して

- 教育課**
- 町立公民館施設使用料を徴収するのはなぜか。
 - 適正かつ効率的な利用を促進すること、一部の利用者に対して受益者負担を求める目的である。きつかけとしては、五百石公民館において利用回数が増加から、地区の方が利用できない事態が発生していることによる。本来の目的から外れた宴席等を中心とした場合には使用料を徴収するものである。
 - 関連意見 各地区における実状や実態には違いがあるの
- 税料金課**
- 個人町民税、固定資産税の収納率が19年度に比べ1%低いのが何故か。(個人町民税1,200万円、固定資産税1,500万円)
 - 所得税から住民税への税源移譲による、「増税ショック」が影響している。
 - また、固定資産税についても、税率改正による影響から町民税と同様と予想される。

- 議会事務局**
- 会議・委員会に出席したときの費用弁償を削るとのことだが、県内の自治体の状況はどうか。
 - 共同調理場建設のPFI導入可能性調査についてどのような建設場所を考えているのか。
 - 上下水道が完備され交通の便も良く、一定の面積が確保できるところを考えている。
 - 関連意見 費用対効果のあがる調査をしていただきたい。



懇親会などによく使われる五百石公民館

- 議案の質問**
- 議案17号 立山町特別職等審議会条例の制定について。
 - 今、なぜこの審議会を設けるのか。
 - 行財政改革行程表に基づき透明性や公平性を確保するため、広く町民や専門家などの意見を答申に反映するため。
 - 関連意見 透明性、公平性を確保した審議委員の人選をおこなってもらいたい。
 - 議案32号 立山町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正。
 - 保育士などの保育業務手当等を廃止することだが、消防職員の緊急出動手当は廃止しないのか。
 - 全国の類似団体の状況を調査したところ、保育業務手当を支給している団体は少ないことから廃止するものである。
 - 消防職員の緊急出動手当については、全国の類似団体を調査した上で対処したい。

住民アンケート実施・生活・健康など 教育・合併など

総務教育常任委員会

「自ら身を削る」

費用弁償に関する条例を一部改正

立山町議会の議員報酬及び費用弁償に関する条例（昭和44第1号）の一部を改正するものである。

地方自治法203号第3項および、町条例第5号の規定は、「議員が招集に応じ若しくは委員会に出席したときは、費用弁償を受けることが出来る」と書いてある。

費用弁償とは、交通費などの名目で、議員に支給される公費であるが、全国の町村自治体においても、廃止の傾向が進んでいる。現在、立山町は厳しい財源のもと、施策の廃止や縮小、各種団体に対する補助金等の廃止を実施しているところであり、また、平成19年12月町議会において、固定資産税率の引き上げを可決した。

そこで県下に先駆けて、議員自ら身を削り範を示すことが必要であることから、一日の費用弁償2,200円を全員一致で廃止と改正した。

この条例は平成20年4月1日より施行する。

副議長 桑原米蔵

ご存知ですか？ 町が手をつないでいる都市を

姉妹都市

正式には「都市提携」といい、議会の承認を得て締結した都市が、互いの文化・経済など幅広い分野で交流を行い、理解と親善を深めようとするもの。立山町の姉妹都市は次の2都市。

愛知県犬山市

昭和48年10月姉妹都市締結
木曽川の清流と素晴らしい景観に囲まれ、観光のまち、歴史のまちとして、自然の調和の中で発展をとげている。町の各種団体との交流や小学生同士の交流などが毎年行われている。

大韓民国ソウル特別市江北区

平成17年4月姉妹都市締結
首都圏唯一の国立公園を有し、800メートル級の山々からなる「三角山」がシンボルである。

友好親善都市

特定の分野に限って交流し、締結に議会の承認は必要ない。

神奈川県湯河原町（観光・文化）

平成15年10月友好親善都市締結
神奈川県西南端に位置し、相模湾を東に望み、三方を山々に囲まれている。一年を通じて温暖な気候で、万葉の時代から温泉地として繁栄。

一度は行ってみる価値のある所ばかり。これからの旅行の予定に入れてみては。

あとがき

「たてやま議会だより」がしばらく休刊になっていました。この間、町民の皆様は議会のことをお伝えすることができなかったことを深くお詫び致します。しかし、この度、議会議員全員の理解と町当局のご配慮により再刊する運びとなりました。こうしてまた、議会のことを皆様にお知らせすることができるようになり大変嬉しく思っています。

発行に当たっては議員の手作りということもあり、不備な点は多々あると思いますので、ぜひ、皆様のご意見やご批判なりをお寄せください。私たちは日々反省し、より分かりやすい議会だよりを目指して頑張っていきますから、今後ともよろしく願います。

（後藤 記）

議会広報特別委員会

委員長 後藤 智文
副委員長 村井 隆夫
委員 細川 均
佐藤 康弘
伊東 幸一
町田 信子
桑原 米蔵



議会や議会だよりについてのみなさん
ご意見・ご感想は

立山町議会内
議会だより係

TEL 462-9984(直通)
TEL 463-1121(代)
FAX 464-1118

立山町議会事務局
〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440
ホームページ <http://www.town.tateyama.toyama.jp/> [議会会議録] もご覧ください。